

佐渡裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 《ブラスの祭典2022》



Photo by Hikaru☆

全国各地で大人気の「佐渡×シエナ」が今回お届けするのは、CDに収録し演奏会で何度も演奏している十八番、アルフレッド・リードの超名曲《アルメニアン・ダンス》のパート1と2を全曲演奏します。吹奏楽の“神様”リードは、1997年に佐渡とシエナの演奏会に来場し『今までで最高の名演だった』と絶賛しました。2021年のリード生誕100周年記念イヤーを経て、佐渡とシエナが新たな《アルメニアン》を創り出します。

演奏会の後半は、ジェームズ・バーンズの《交響曲第3番》を演奏。作曲家が娘を亡くした直後に書かれた曲で、苦難、挫折、絶望、喪失感といった感情から、魂の再生、生の喜びまでが表現されている超大作です。2021年秋に実施したツアーで初挑戦しましたが、各地で大きな感動を呼びました。本公演時には発売される新作CDの録音も行い、佐渡×シエナの新たな代表作となることは間違いありません。

吹奏楽の2大名作を一度に聞く事ができるスペシャル・プログラム、どうぞお楽しみに!!

佐渡裕 (指揮)

YUTAKA SADO, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。

現在、欧州の拠点をウィーンに置き、オーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団の音楽監督を務めている。これまでにパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。

国内では、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務めている。CDは多数あり、シエナとのベストセラー「ブラスの祭典」シリーズや、トーンクンストラ管弦楽団との「ブラームス：交響曲第2番／ハイドンの主題による変奏曲」などがある。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)など。2022年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団ミュージック・アドヴァイザー、23年4月より同楽団音楽監督に就任が決定している。

オフィシャルファンサイト <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>
オフィシャルInstagram @yutakasado_official

シエナ・ウインド・オーケストラ

SIENA WIND ORCHESTRA

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動をしており、定期演奏会のほか音楽鑑賞教室等の青少年育成事業への出演、また各アンサンブルユニットによるコンサートやクリニック等を積極的に展開しており、国内吹奏楽愛好家の先頭に立つフラッグシップオーケストラとして高い人気を誇っている。

2002年より佐渡裕を首席指揮者に擁し、最近では原田慶太楼、宮川彬良、青島広志など多彩な指揮者を客演に迎えている。2017年より挟間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎える。また、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」には度々出演するなど、メディアからも注目される存在となっている。2010年より東京都文京区と事業提携を結び、地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。第21回吹奏楽アカデミー賞を受賞。

CD・DVDも多数収録しており、最近ではアイベックスから「スパーク&シエナ2」、スクウェア・エニックスから「ファイナルファンタジーVII×ブラバン!!!」、ユニヴァーサルミュージックから「ブラバン・ディズニー～シエナ・スタイル～」等をリリースし、大きな話題を呼んでいる。

オフィシャルサイト <https://sienawind.com>